

おーぷん

<http://www.yaic.gr.jp/>

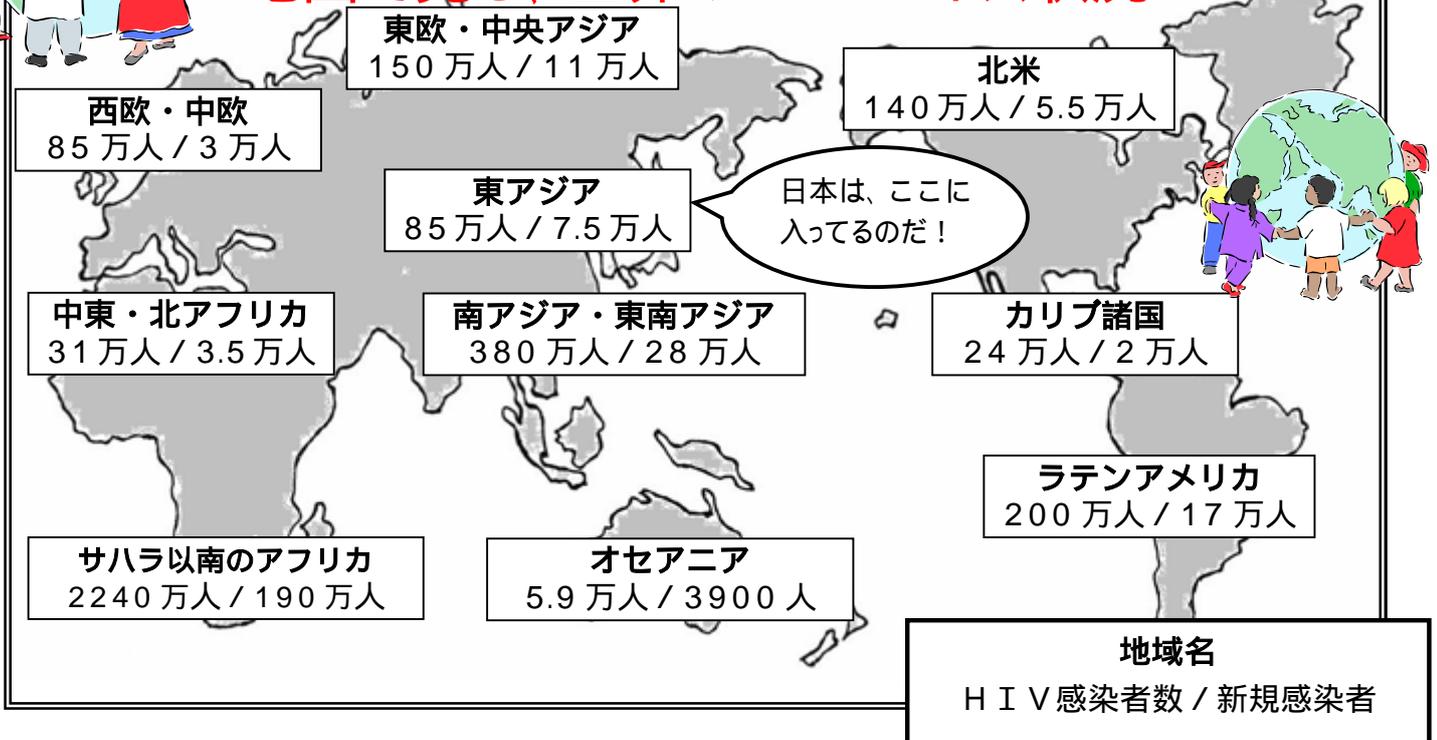
発行: 横浜AIDS市民活動センター
〒231-0015 横浜市中区尾上町3丁目39番地
尾上町ビル9F
TEL: 045-650-5421 / FAX: 045-650-5422
E-mail: info@yaaic.gr.jp
平日: 13:00~20:00 / 土・日・祝: 10:00~17:00
(火曜日 夜間検査のため休館)
監修: 横浜市健康福祉局

最新 世界のHIV感染者・エイズ患者推計数

2008年の推計値 (2009年11月、UNAIDS発表)



地図で見る、世界のHIV・エイズ状況



世界 1日

で新たにHIV感染した人の数は、270万人でした。
過去に感染した人を含めた世界のHIV感染者数は3,340万人になりました。
また、エイズによる死亡者数は、1年間で200万人にのぼりました。

あたりにすると、7,400人以上の人が、新たにHIVに感染していることになり、このうち、子ども(15歳未満)のHIV感染者が1,200人でした。
また、成人(15歳以上)のHIV感染者のうち約40%が若年層(15~24歳)でした。

子ども(15歳未満)のHIV・エイズの状況(全世界合計と感染者数の多い地域)

地域名	全世界合計	サハラ以南のアフリカ	南・東南アジア	ラテンアメリカ
HIV感染者数	210万人	180万人	14万人	3.1万人
新規HIV感染者数	43万人	39万人	1.8万人	6,900人
死者数	28万人	23万人	1.1万人	3,900人

もっとも子どものHIV感染者が多い地域はサハラ以南アフリカで、子どもの感染者の約90%(180万人)この地域にいます。

この地域のHIV感染した子どもの多くは、母親の胎内でHIV感染したり、出産や授乳時にHIVに感染しているのです。



さらに詳しく知りたい方は、エイズ予防情報ネットへ <http://api-net.jfap.or.jp>

悩む...気になる...聞けない...!?聞きたい!!

よくある問い合わせ・質問コーナー

みんなも気になる、あんな事?!こんな事?!
センターのスタッフが選ぶ、よくある問い合わせ・質問を紹介します。

Q. エイズ検査を受けたいんですけど...?

A. 保健所(福祉保健センター)で、
無料・匿名(名前不要)の検査を受けることができます。

曜日、時間帯、場所などいろいろとありますので、自分の都合のよいところで受けてください。

検査会場を探すときは、
「HIV 検査・相談マップ」で検索
(<http://www.hivkensa.com/>)



Q. お互いに HIV 感染者じゃなくても、性的接触をしたら HIV に感染することはありますか?

A. 間違いなく感染していない人同士であれば、HIV に感染することはありません。

ただし、過去に他の人と性的接触がある場合、感染の有無は、検査を受けなければわかりません。だから、検査を受けることって大切なんです。



Q. (軽い)キスで、エイズに感染しますか?

A. 口の中が出血していなければ、キスで感染することはありません。

HIV は、血液、精液、^{ちつ}膣分泌液により感染しますが、^{だえき}唾液では感染しません。



握手、食器の共用、
せき・くしゃみ、
トイレ・風呂などでも
感染しないのだ!

お風呂も大丈夫なのだ

Q. 保健所の HIV 検査で陰性が出たのですが、本当に感染していないんですか?

A. 感染の危険があった日から 3 か月過ぎてから検査を受けていれば心配ありません。

検査会場によっては「3 か月」でないこともありますので、検査会場に確認してください。

検査や結果などについて、気になることがあったら、検査会場の医師や看護師に気軽に相談してみてくださいね。

「う~ん、HIV/エイズや STI (性感染症) について気になることが...」という時は、保健所や NPO 団体等による電話相談が便利です。名前をいう必要はありませんので、気軽に相談してみてください。(「HIV 検査・相談マップ」で調べられます。)

当センターでは、検査会場、相談先などのご案内もしています。

メール (info@yaaic.gr.jp) での質問も待ってます! 名前不要でいいですよ!

センターからのお知らせ



新しいDVDが入りました！

Let's talk. Let's go in for testing 話をしよう！検査に行こう！

内容：HIV・エイズの基礎知識、検査の受け方や、最先端医療の現状、みんなが疑問に思っているHIV・エイズのことについて分かりやすく解説しています。そのほかに、HIV感染者のインタビューなどあります。(内容20分)

ドクター北村が熱く語る 避妊と性感染症予防

内容：ドクター北村が、若者へのメッセージとして、思春期の子もたちの行動変容を促すたくさんのキーワードを熱く語っています。注目は「ドクター北村の叫び」。7つのうち「NO」が一つでもあったら「性的接触をあせらない」と、自分とパートナーの性的接触に対する考え方のレベルを示しています。(内容24分)



自分と相手を大切にすって？ ~えんみちゃんからのメッセージ~

内容：ピア・エデュケーターして活動している“えんみちゃん”こと医大生の遠見才希子さんが中高生の時に聴きたかったメッセージを自身語っているものです。医学的な点は、性教育の第一人者の岩室紳也先生が監修しています。(内容26分)



このDVDは貸出を行っています。貸出をご希望の方は、センターまでご来館下さい。なお、このDVDは貸出を行っていません。センター内で、視聴できますので、お気軽にご来館下さい。



第15回 地域で学ぶ 親と子のいのちと性の教室

~親と子に、性と性感染症(STD)をきちんと伝えたい~



公演 ひとり人形劇(がらくた座)、テーマ:「地域で学ぶ親と子のいのちと性の教室」

日時:平成22年3月13日(土) 開場・13:30、開演・14:00

会場:ぱれっと旭(相鉄線 鶴ヶ峰駅下車 徒歩8分)

対象:幼稚園児・保育園児(4歳ぐらいから)、小学生、保護者

参加費:無料

主催:特定非営利活動法人 AIDS ネットワーク横浜(ANY)

お問い合わせ先:〒231-0015 横浜市中区尾上町3-39 尾上町ビル9F

横浜AIDS市民活動センター内

FAX:045-201-8809、TEL:080-4058-7749 担当:清治(せいじ)

横浜市全18区を年3回、6年間かけて巡回している公演です。エイズ予防・啓発は、子供のうちから「正しい知識をもってもらいたい」という気持ちから、この公演を企画しました。公演の内容は人のからだ、出産、人権、差別、また相手の気持ちを大切にす事、自分の体は自分で守ること、そしてHIV感染者との共生などを、子どもにも分かりやすいように人形劇で説明します。普段語られることの少ない話題ですが、公演を見た後にそれぞれの家庭で話し合える糸口になれば幸いです。多数の方のご来場をお待ちしています。



☆新・教えておねえさん～尾上家編～☆

こんにちは！私の名前は桜木まち。横浜 AIDS 市民活動センターで事務局員をしています。エイズについて考えてくれるみんなを応援する施設です。中学生になったばかりの拓海くんと未来ちゃんはカラダの変化や、ココロの悩みなど、不安になることがたくさんあるみたい。このマンガでは拓海くん未来ちゃんの悩みに、まちなえさんが答えてくれます。さて、どんな質問が飛び出すでしょう？

このマンガは中学校の養護教諭の先生にご協力いただいております。
横浜市立瀬谷中学校 養護教諭 大津留 幸子 先生



“ピンポン感染を起さないために”

ピンポン感染とは、自分だけ治療してもまたパートナーから感染し、また治療と、くり返すことを言います。性感染症は、自分が感染していても、病気の症状がでない時もあります。自分に症状がなくても、パートナーに症状がある時は、一緒に治療することがピンポン感染を防ぐために、大事なのです。